



# 令和2年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年2月7日

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社  
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 時雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営企画部長 (氏名) 井口 吉忠

TEL 03-5462-8224

四半期報告書提出予定日 令和2年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和2年3月期第3四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	34,361	6.3	1,944	12.1	2,076	18.4	1,385	29.4
31年3月期第3四半期	36,666	1.6	2,210	5.0	2,545	0.8	1,963	17.7

(注) 包括利益 2年3月期第3四半期 948百万円 (26.9%) 31年3月期第3四半期 1,296百万円 (63.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	169.26	169.04
31年3月期第3四半期	239.81	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第3四半期	61,447	25,583	39.2
31年3月期	60,609	24,966	39.0

(参考) 自己資本 2年3月期第3四半期 24,116百万円 31年3月期 23,658百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		0.00		40.00	40.00
2年3月期		0.00			
2年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	3.4	2,500	5.6	2,750	11.8	1,750	2.8	213.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期3Q	8,200,629 株	31年3月期	8,194,029 株
期末自己株式数	2年3月期3Q	6,798 株	31年3月期	6,708 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期3Q	8,187,933 株	31年3月期3Q	8,187,448 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用環境の改善等を背景に個人消費が下支えとなり、景気は底堅く推移しているものの、米中貿易摩擦の長期化の影響を受け、中国では景気の減速が継続し、また、欧州諸国やアジア新興国では景気の回復力が鈍化しました。一方、わが国では、設備投資や個人消費は緩やかに増加しているものの、輸出や生産は力強さを欠いた状況が続きました。

当社グループにおいては、電子素材等の電子・機能製品の減販に加え、中国や東南アジア地域での景気減速の影響を受けました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は343億6千1百万円と前年同期比23億5百万円（6.3%減）の減収、営業利益は19億4千4百万円と前年同期比2億6千6百万円（12.1%減）の減益、経常利益は20億7千6百万円と前年同期比4億6千9百万円（18.4%減）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億8千5百万円と前年同期比5億7千7百万円（29.4%減）の減益となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社の取締役会にて報告される当社グループの事業活動における経営資源の配分の決定や業績の評価などの検討に使用している経営指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益も経常利益から営業利益に変更しております。

この変更に伴い、前年同期のセグメント利益も営業利益に変更したうえで比較しております。

#### (電子・機能製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品や医薬品原薬・中間体などの機能化学品、粘・接着剤やトナー用樹脂などの機能樹脂、半導体用金型クリーニング材やセラミック基板などの電子素材であります。

機能化学品は、医薬関連は堅調であったものの、農薬向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。機能樹脂は、光学関連分野向け粘・接着剤は横ばいで推移しましたが、トナー用樹脂の販売が回復せず、前年同期比減収となりました。電子素材は、半導体用金型クリーニング材は市況の悪化により海外での販売が伸びず、また、セラミック基板は車載向けが振るわず、ともに前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は136億3千3百万円と前年同期比11億1千4百万円（7.6%減）の減収、セグメント利益は11億6千9百万円と前年同期比2億8千4百万円（19.5%減）の減益となりました。

#### (フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、マーキングフィルム、ステッカー、再帰反射シートなどです。

マーキングフィルムは、国内及び海外向けともに低調となり、前年同期比減収となりました。ステッカーは、東南アジア地域などでの販売が低迷し、前年同期比減収となりました。再帰反射シートは、欧州や中国向けの販売が総じて振るわず、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は114億1千6百万円と前年同期比8億9千9百万円（7.3%減）の減収、セグメント利益は人件費や輸送費等のコスト上昇もあり、5億1千7百万円と前年同期比5億7千3百万円（52.6%減）の減益となりました。

## (建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、ビル・住宅用アルミ建材や内装建材用プラスチック押出製品などではありますが、住宅着工戸数は減少傾向にあるものの、主力の手摺、笠木等の販売が堅調に推移しました。

以上により、当セグメントの売上高は71億1千1百万円と前年同期比5千万円(0.7%増)の増収、セグメント利益はアルミ地金価格の低下による原価低減などもあり、3億8千6百万円と前年同期比2億5千2百万円(188.1%増)の増益となりました。

## (エンジニアリング)

当該事業の主な内容は、鉄鋼・化学・環境分野の産業プラントの設計・施工などではありますが、国内向け工事案件の完工が減少したことなどにより、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は32億4千1百万円と前年同期比1億3千4百万円(4.0%減)の減収となったものの、追加工事などのコスト減少により、セグメント利益は1億4千4百万円と前年同期比1億1千6百万円(414.3%増)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比8億3千7百万円増加し、614億4千7百万円となりました。

このうち、流動資産は、受取手形及び売掛金や棚卸資産の増加などにより、前期末比15億3千5百万円増加し、331億2千4百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の減価償却や投資有価証券の時価下落などにより、前期末比6億9千8百万円減少し、283億2千2百万円となりました。

## (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前期末比2億1千9百万円増加し、358億6千3百万円となりました。

このうち、流動負債は、支払手形及び買掛金や短期借入金の減少などにより、前期末比9億9千2百万円減少し、206億8百万円となりました。固定負債は、長期借入金の増加などにより、前期末比12億1千1百万円増加し、152億5千5百万円となりました。

## (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、円高に伴う為替換算調整勘定の減少はあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前期末比6億1千7百万円増加し、255億8千3百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の39.0%から0.2ポイント改善し、39.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和元年10月29日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,062	9,229
受取手形及び売掛金	13,848	14,854
商品及び製品	4,244	4,418
仕掛品	1,557	1,822
原材料及び貯蔵品	2,229	2,311
その他	732	575
貸倒引当金	△85	△87
流動資産合計	31,588	33,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,140	7,023
機械装置及び運搬具(純額)	4,168	3,757
土地	11,594	11,585
その他(純額)	1,694	1,622
有形固定資産合計	24,598	23,987
無形固定資産	608	771
投資その他の資産		
その他	3,880	3,628
貸倒引当金	△66	△65
投資その他の資産合計	3,814	3,563
固定資産合計	29,021	28,322
資産合計	60,609	61,447

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,741	7,435
短期借入金	10,495	9,577
未払法人税等	224	325
賞与引当金	564	620
役員賞与引当金	31	24
その他	2,542	2,624
流動負債合計	21,600	20,608
固定負債		
長期借入金	6,776	7,937
退職給付に係る負債	3,267	3,420
役員退職慰労引当金	53	49
再評価に係る繰延税金負債	2,812	2,811
その他	1,134	1,036
固定負債合計	14,043	15,255
負債合計	35,643	35,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,034	7,038
資本剰余金	2,404	2,408
利益剰余金	7,381	8,440
自己株式	△12	△12
株主資本合計	16,807	17,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	786	640
繰延ヘッジ損益	△0	△2
土地再評価差額金	6,256	6,255
為替換算調整勘定	58	△436
退職給付に係る調整累計額	△250	△216
その他の包括利益累計額合計	6,850	6,240
新株予約権	—	4
非支配株主持分	1,307	1,463
純資産合計	24,966	25,583
負債純資産合計	60,609	61,447

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年12月31日)
売上高	36,666	34,361
売上原価	25,998	24,050
売上総利益	10,668	10,310
販売費及び一般管理費	8,457	8,366
営業利益	2,210	1,944
営業外収益		
受取利息	102	130
受取配当金	92	73
助成金収入	77	98
為替差益	183	—
その他	167	154
営業外収益合計	623	456
営業外費用		
支払利息	108	103
賃貸収入原価	65	65
その他	113	154
営業外費用合計	287	324
経常利益	2,545	2,076
特別損失		
投資有価証券等評価損	36	—
特別損失合計	36	—
税金等調整前四半期純利益	2,509	2,076
法人税、住民税及び事業税	442	495
法人税等調整額	△12	32
法人税等合計	429	528
四半期純利益	2,080	1,548
非支配株主に帰属する四半期純利益	116	162
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,963	1,385



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年12月31日)
四半期純利益	2,080	1,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△391	△151
繰延ヘッジ損益	△13	△2
為替換算調整勘定	△412	△480
退職給付に係る調整額	34	34
その他の包括利益合計	△783	△600
四半期包括利益	1,296	948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,187	776
非支配株主に係る四半期包括利益	108	172

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子・機能 製品	フィルム・ シート製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,737	12,282	7,042	2,625	36,688	△22	36,666
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	33	19	750	811	△811	—
計	14,747	12,315	7,061	3,375	37,499	△833	36,666
セグメント利益	1,453	1,090	134	28	2,704	△494	2,210

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子・機能 製品	フィルム・ シート製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,759	11,391	7,099	2,274	34,524	△163	34,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△126	25	12	967	876	△876	—
計	13,633	11,416	7,111	3,241	35,400	△1,039	34,361
セグメント利益	1,169	517	386	144	2,216	△272	1,944

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社の取締役会にて報告される当社グループの事業活動における経営資源の配分の決定や業績の評価などの検討に使用している経営指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益も経常利益から営業利益に変更しております。

この変更に伴い、前年同四半期連結累計期間のセグメント利益も営業利益に変更したうえで比較しております。